

インターンシップを中心に添えた 地域連携（行政との連携）

—名古屋産業大学と瀬戸市役所の地域連携事業—

名古屋産業大学

現代ビジネス学部 経営専門職学科 准教授

地域連携センター長 今永典秀

目次

- 1.自己紹介・名古屋産業大学・経営専門職学科
- 2.インターンシップについて
- 3.愛知県瀬戸市との地域連携
- 4.まとめ

1.自己紹介・名古屋産業大学・経営専門職学科

2.インターンシップについて

3.愛知県瀬戸市との地域連携

4. まとめ

自己紹介 今永典秀

<経歴>

- ・ 2005年4月から2015年12月 民間企業勤務（法人営業・経営企画・事業開発など）
- ・ 2016年1月から2019年3月 岐阜大学 地域協学センター 特任助教
- ・ 2019年4月から 名古屋産業大学 現代ビジネス学部 経営専門職学科 准教授

<主な役職>

日本インターンシップ学会理事、グローバルビジネス学会理事

<主な著書・論文>

『企業のためのインターンシップ実施マニュアル』（共著）日本能率協会マネジメントセンター

『共創の強化書』（共著）中央経済社

「地域中小企業による有償ジョブ型インターンシッププログラムの構築プロセス」地域活性研究17(1),39-48

「中小企業の長期実践型インターンシップにおけるコーディネーターの存在価値」日本NPO学会
ノンプロフィット・レビュー21(1),57-70

「地域創生へのインターンシップ」日本労働研究雑誌2021年8月号、73-84



名古屋産業大学の経営専門職人材

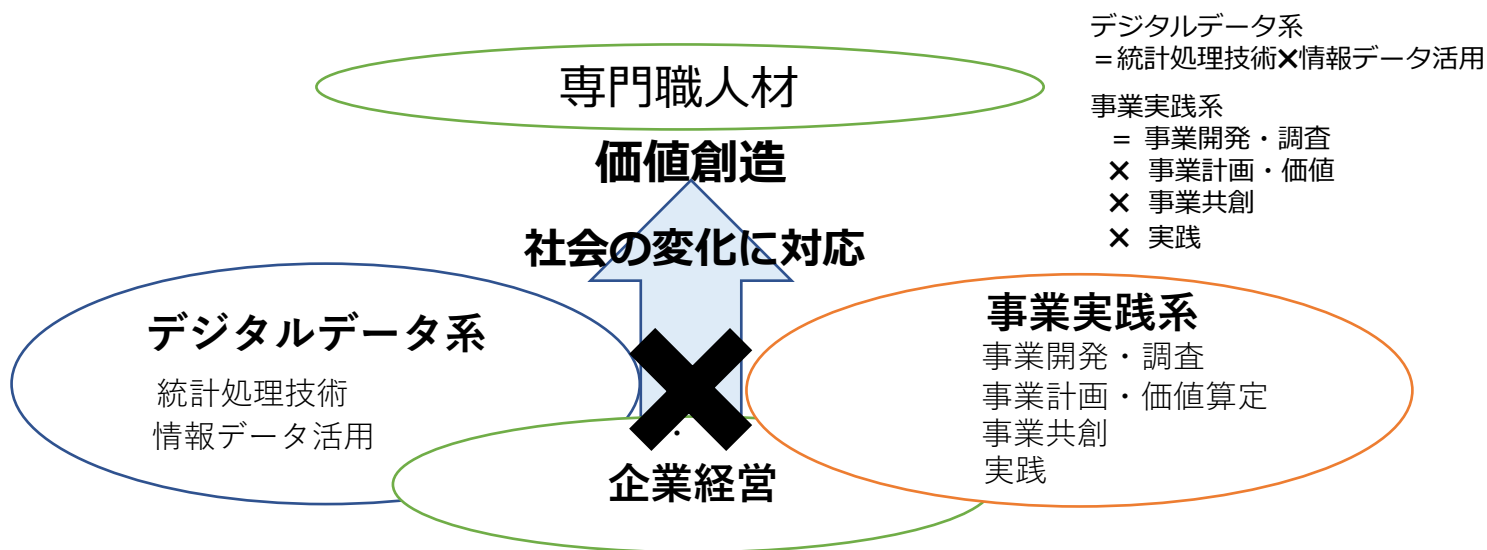
1) デジタルデータの知識技能を備えた高度な実践力

2) 事業に関する高度な知識と豊かな創造力を有し、事業の価値創造に貢献できる人材

建学の精神：「職業教育」をとおして社会で活躍できる人材の育成

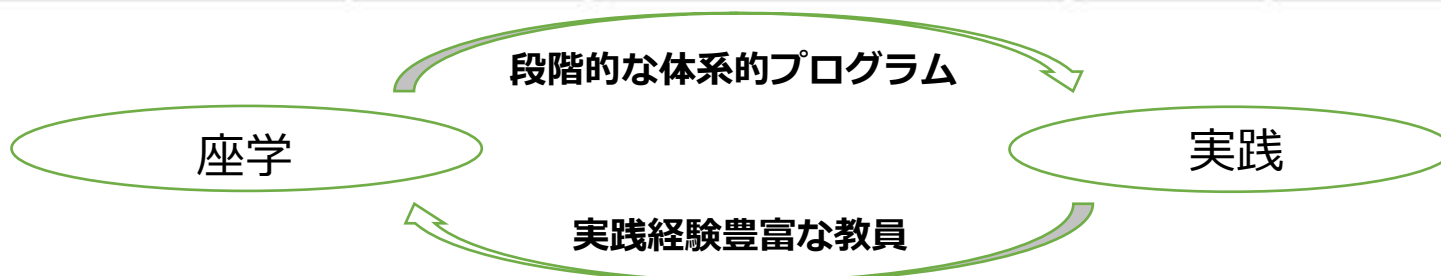
養成する人材

「デジタルデータの知識技能を駆使し、企業経営や社会の変化に対応した事業の実践を通じて、価値創造に貢献する専門職人材を養成する」



本学における「デジタルデータ」の定義：主にAI、IoT、ビックデータなどの数値データであり、その中で事業の実践プロセスに関するデータと、これを評価する業績データ、市場データ、顧客データなどの企業経営に関するデータを対象とする

実習教育の全体像（教育プログラム）



○一般基礎科目 キャリア教育・ゼミナール、他教養科目

豊かな人間性・職業倫理・コミュニケーション能力を養成

一般基礎科目：20単位

○実践的知識・技能を座学で学ぶ

デジタルデータ系：統計処理技術と情報データ活用

事業実践系：事業調査・開発、事業計画・価値算定、事業共創と実践

職業専門科目：80単位

○体系的な実習プログラム(合計40単位)

デジタルデータ系と事業実践系の知識・技能・技術を習得するための、体系的な実習科目の配置

実務経験を有する教員と、実務者による実践的な実習講義

うち実習科目：40単位

○インターンシップ実習(20単位)

2年生の夏休みは10日間、3年生の前期は約3ヶ月間、学んだ知識を生かした実践的な企業での実習を経験できる

展開科目：20単位

○豊かな創造力を身につける展開科目

社会変化に対応する力、職業専門科目の隣接領域の他分野科目 地域創生・社会課題

カリキュラムマップ

本学の建学の精神：「職業教育」をとおして社会で活躍できる人材の育成

養成する人材像

デジタルデータの知識技能を駆使し、企業経営や社会の変化に対応した事業の実践を通じて、価値創造に貢献する専門職人材を養成する

下線は必修

u003cbr>

教養

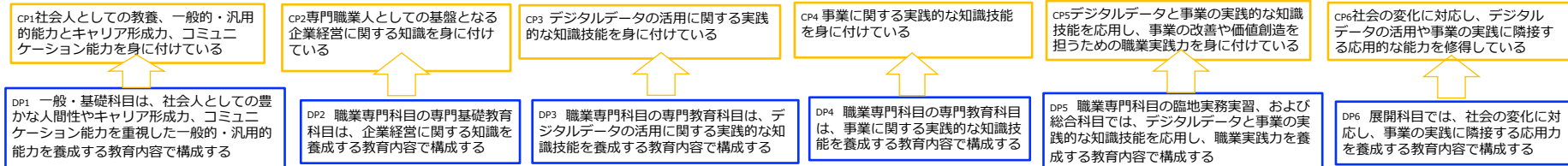
専門知識・技能

実務力

創造力

総合力

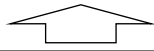
合計124単位以上 (必修100単位)	1	2	3	4	5	6	7	8
一般・基礎科目 20単位以上 (必修18単位)	・ <u>教養科目・コミュニケーション科目</u> ・ <u>経済学</u> ・ <u>情報入門</u> ・ <u>キャリアデザインI</u> ・ <u>基礎ゼミナールI</u>							
職業専門科目 80単位以上 (必修70単位)	・ <u>経営学総論</u> ・ <u>簿記</u> ・ <u>マーケティング</u> ・ <u>会社法</u> ・ <u>統計学基礎</u>							
専門科目 48単位以上 (必修40単位)	・ <u>データベース</u>	・ <u>経営管理論</u> ・ <u>ファイナンス</u> ・ <u>地域経済論</u> ・ <u>ビジネスエコノミクス</u>	・ <u>キャリアデザインII</u> ・ <u>基礎ゼミナールIII</u>	・ <u>基礎ゼミナールIV</u>		・ <u>キャリアデザインIII</u>		
デジタルデータ系 必修12単位		・ <u>ビジネス情報処理実習</u> ・ <u>統計処理とデータマイニングI</u> ・ <u>統計処理とデータマイニングII</u>	・ <u>データベース実習</u> ・ <u>デジタルデータ活用</u>	・ <u>データサイエンス実習</u> ・ <u>ビッグデータの活用</u> ・ <u>人工知能とIoT</u> ・ <u>統計調査実習</u>			(応用(イノベーション)選択) 3科目から1科目以上 (2単位以上) ・人工知能とIoTの活用 のイノベーション	
事業実践系 必修20単位	・ <u>事業概論</u>	・ <u>事業データ概論</u>	・ <u>企業調査実習</u> ・ <u>事業計画と資金調達</u> ・ <u>事業採算分析</u>	・ <u>プロジェクト実習</u> ・ <u>事業の調査と分析</u> ・ <u>商品開発実践</u> ・ <u>事業計画実践</u> ・ <u>事業価値算定</u> ・ <u>事業共創</u>		・ <u>事業改善実習</u>	・ <u>ソーシャルイノベーション</u>	・ <u>サービスイノベーション</u>
専門ゼミナール 必修8単位					・ <u>専門ゼミナールI</u>	・ <u>専門ゼミナールII</u>	・ <u>専門ゼミナールIII</u>	・ <u>専門ゼミナールIV</u>
臨地実務実習 必修20単位			・ <u>インターンシップ</u>		・ <u>長期インターンシップI-III</u> (18単位)			
展開科目 20単位以上 (必修8単位)	・ <u>地域文化とまちづくり</u> ・ <u>ダイバーシティと女性活躍推進</u>	・ <u>観光地域開発</u> ・ <u>モラルと共感の心理学</u> ・ <u>地域スポーツコミッション</u>	・ <u>地域連携論</u> ・ <u>地域公共政策</u> ・ <u>ワークライフバランスとワーケーション</u>	・ <u>コミュニティ心理学</u> ・ <u>共生社会福祉</u> ・ <u>ヘルスケアマネジメント</u>		・ <u>環境生態学</u> ・ <u>人材育成と組織開発</u>		
総合科目 必修4単位							・ <u>事業価値創造実習I</u>	・ <u>事業価値創造実習II</u>



養成する人材像と3つのポリシーの関係性

養成する人材像

デジタルデータの知識技能を駆使し、**企業経営**や**社会の変化**に対応した**事業の実践**を通じて、**価値創造に貢献する専門職人材**を養成する



ディプロマ・ポリシー

DP1
社会人としての教養、一般的・汎用的能力とキャリア形成力、コミュニケーション能力を身に付けている

DP2
専門職業人としての基盤となる**企業経営**に関する知識を身に付けている

DP3
デジタルデータの活用に関する**実践的な知識技能**を身に付けている

DP4
事業に関する**実践的な知識技能**を身に付けている

DP5
デジタルデータと事業の**実践的な知識技能**を応用し、事業の改善や価値創造を担うための**職業実践力**を身に付けている

DP6
社会の変化に対応し、デジタルデータの活用や事業の実践に隣接する**応用的な能力**を修得している

教育課程



カリキュラム・ポリシー

CP1
社会人としての教養、一般的・汎用的能力とキャリア形成力、コミュニケーション能力を養成する

CP2
企業経営に関する知識を養成する

CP3
デジタルデータの活用に関する**実践的な知識技能**を養成する

CP4
事業に関する**実践的な知識技能**を養成する

CP5
デジタルデータと事業の**実践的な知識技能**を応用し、**職業実践力**を養成する

CP6
社会の変化に対応し、**事業の実践**に隣接する**応用力**を養成する

アドミッション・ポリシー

- AP1 聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力の基礎を身に付けている人
- AP2 主体性を持ち、コミュニケーションをとりながら協働し、実践的な知識の習得に取り組む意欲がある人
- AP3 デジタルデータ活用の技能技術を身に付けるための基礎学力と統計処理に必要な論理的な思考力を有する人
- AP4 高等学校の教育課程で身に付けた基礎的な知識や技能をもとに、企業経営、デジタルデータの分野に関心を持ち、自らの考えを説明できる人
- AP5 デジタルデータの知識や技能を活用し、豊かな創造力を身につけ、企業・組織の発展に貢献する意欲がある人

カリキュラムツリー

2020年8月20日

卒業後の 進路イメージ

サービス業を中心とし、その他の業種のデータ分析・活用の職種

デジタルデータ活用：総務（情報系・事業・業務改善）

データ分析：マーケティング・財務会計・経営企画（事業・業務分析、事業立案・企画、推進）

養成する人材象

デジタルデータの知識技能を駆使し、企業経営や社会の変化に対応した事業の実践を通じて、価値創造に貢献する専門職人材を養成する

DP1 社会人としての教養、一般的・汎用的能力とキャリア形成力、コミュニケーション能力を身に付けている

DP2 専門職業人としての基盤となる企業経営に関する知識を身に付けている

DP3 デジタルデータの活用に関する実践的な知識技能を身に付けている

DP4 事業に関する実践的な知識技能を身に付けている

DP5 デジタルデータと事業の実践的な知識技能を応用し、事業の改善や価値創造を担うための職業実践力を身に付けている

DP6 社会の変化に対応し、デジタルデータの活用や事業の実践に隣接する応用的な能力を修得している

実習は赤字
必修は下線

発展

4年生

3年生

統合

実践

4セメ終了時
ゼミ確定

2年生

基礎・実践

1年生

基礎

一般基礎科目

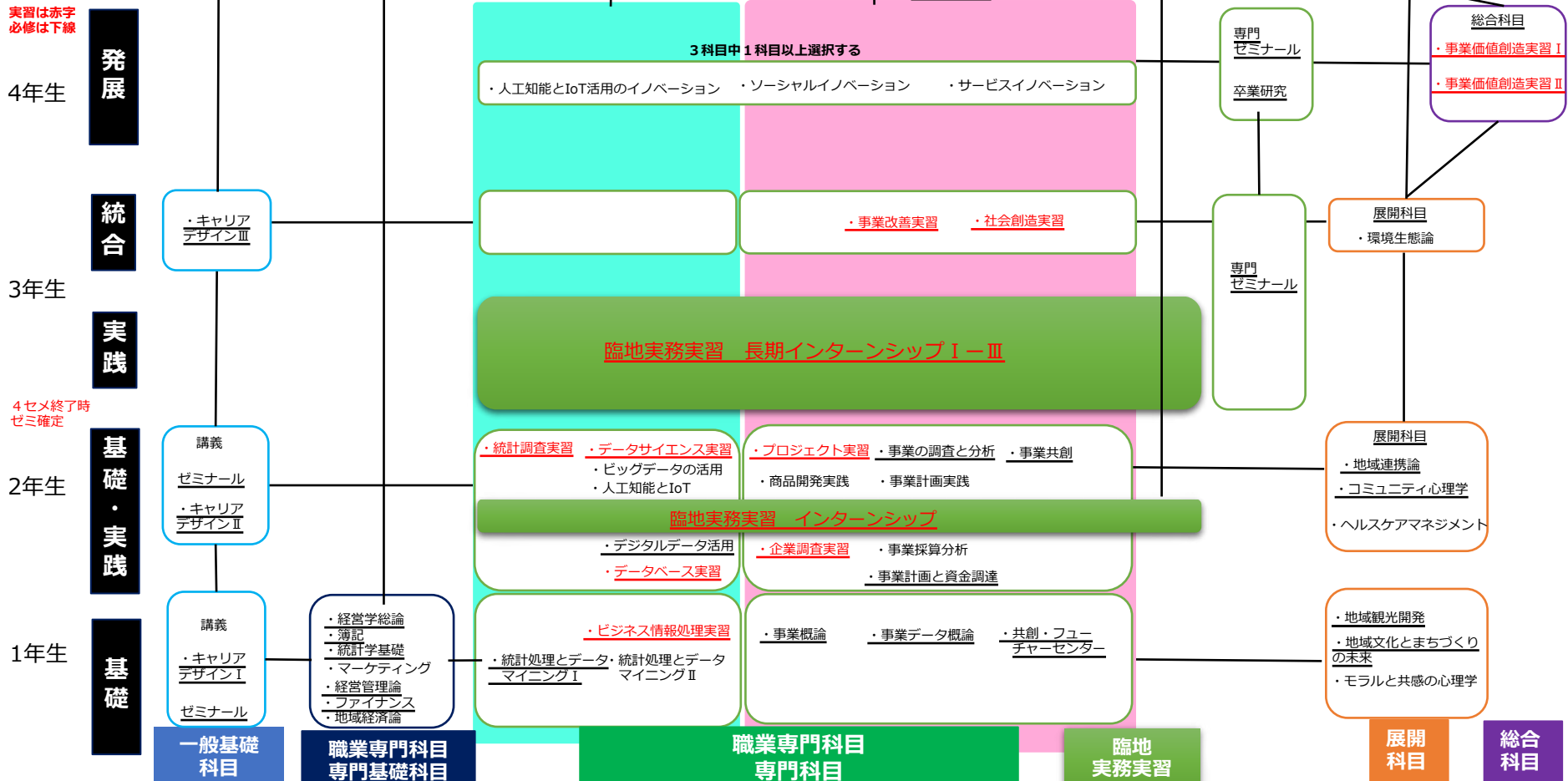
職業専門科目
専門基礎科目

職業専門科目
専門科目

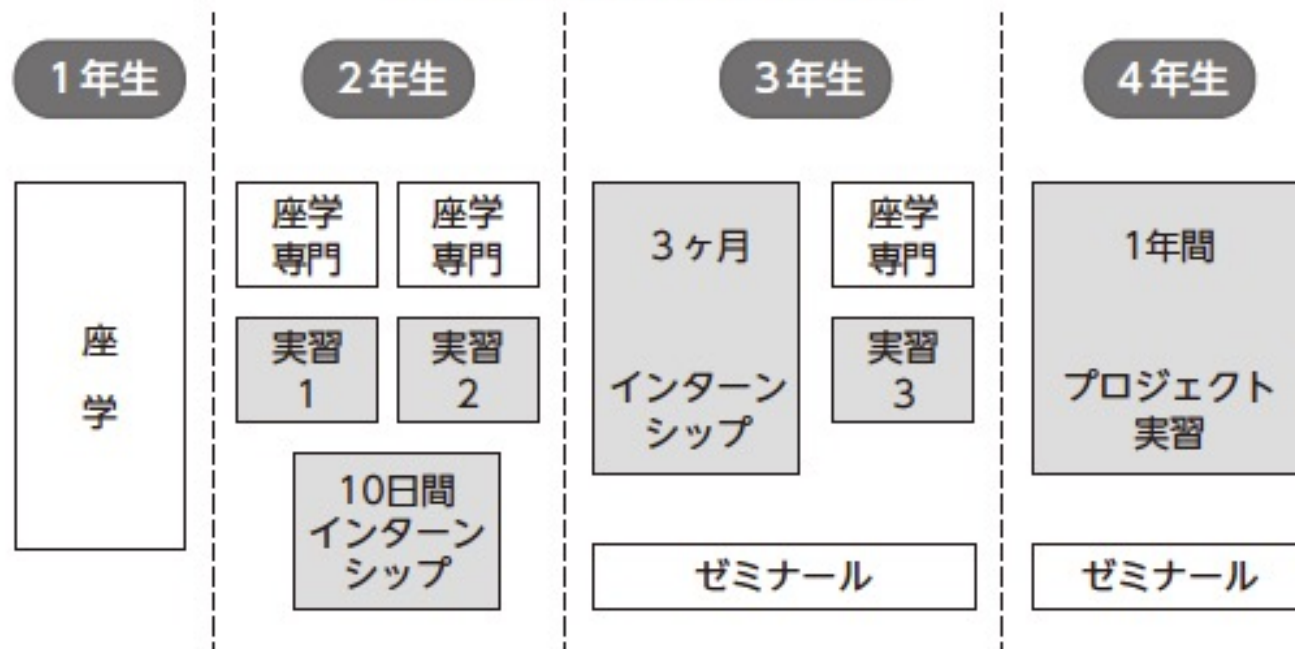
臨地
実務実習

展開
科目

総合
科目



経営専門職養成プログラム



- 学んだことと、インターンシップ経験を繰り返し、段階的に実施することで、学んだ知識を、使える知識とする体系的な教育プログラムが構築されている
- インターンシップでは、専門領域で学んだ知識・技能・技術を活用して企業の課題解決を中心としたプログラムを実施する計画
経営（マーケティング・ファイナンスなど）の領域とデジタルデータ活用の領域を中心に個別企業ごとにプロジェクトを設計する

実習1：実務家教員が中心に、PBL形式の講義を学内を中心に実施

実習2：少し実践的なPBL形式の講義を学内を中心に実施

実習3：インターンシップ経験を生かしケーススタディなどによる議論

名古屋産業大学とG-netの連携

PICK UP!

人材育成を通じて地域活性化に向けた取り組みを行っているNPO法人G-netと連携協定を結びました。

名古屋産業大学とNPO法人G-netが連携協定を結ぶこととなり、同法人の南田修司代表理事をお招きし、調印式を行いました。G-netは「思いを言葉に、言葉を行動に」の理念のもと、東海地域を中心に、長期実践型インターンシップを始め、地域の中小企業と連携した人材育成を通じた地域活性化に向けた取り組みを積極的に行っているNPO法人です。今回の協定締結により今後、地域の中小企業との連携促進や、外部講師招へい、シンポジウムの共同開催等を通して、本学の特徴である「職業教育」「実践教育」のさらなる推進に向け、さまざまな効果が見込まれます。

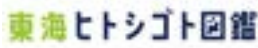


NPO法人G-net



所在地	岐阜県岐阜市
設立	2001年
従業員	フルタイム8名、時短勤務3名 兼業者8名（内2名学生）、インターン生2名
事業内容	地域地場産業の経営革新と右腕人材の育成に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> 実践型インターンシップ事業 (2004～) 大学生が地場産業に半年間弟子入り 就職採用支援事業(2013～) 中小企業の右腕人材に特化した就職 採用支援 ふるさと兼業事業 (2018～) 共感ベースの兼業マッチング事業 日本中の地域の底上げが可能な協同型 運営体制を目指す

経営革新に取り組む魅力的な**企業**と、
意欲高い主体的な**若者**が**プロジェクト**で繋がり
「**新たな挑戦**」が連鎖している**地域**を作りたい



職業体験	複数企業訪問型インターンシップ (シゴトリップ)	10年以上開催、1000名参加
長期実践	実践型インターンシップ (ホンキ系インターン)	約1000人を中長期で地域の小さな中小企業へ
オンライン	若者向けオンラインキャンパス (つながるキャンパス)	16歳～24歳の若者1000人弱が参画 オンライン上の仮想キャンパス
社会人IS	兼業・プロボノマッチング (ふるさと兼業)	全国28地域と連携。約8000人の社会人が登録。立ち上げ4年で、500のプロジェクトに800人をコーディネート
採用・定着支援	中小企業採用支援、定着支援サービス「ミギウデ」	意欲高い人材のマッチング支援。120人程度マッチング (半数近くが移住)
働き方・企業のPR	地域企業と共につくる企業紹介web「東海ヒトシゴト図鑑」	東海地域の企業・働く人に注目して集約したサイト

南田 修司

NPO法人G-net 代表理事
名古屋産業大学 非常勤講師

「地域連携論」

「インターンシップでの協力」

(シゴトリップ、長期実践型インターンシップ)



三重大学大学院教育学研究科を経てNPO法人G-netに新卒入社。

2017年、代表理事就任。人と地域企業のつなぎ役として、大学生のインターンシップや地域特化型の就職採用支援事業、社会人の兼業・プロボノマッチング事業（21年度HRアワード入賞）、若者向けオンラインキャンパス事業など、一貫通貫で人と地域のコーディネートに取り組んでいます。

2021 東北地域における外部人材活用に向けた検討会委員／兼業・副業人材活用検討会議委員（東北・関東経済産業局）

内閣府地方創生インターンシップ推進委員

シゴトリップ



https://peraichi.com/landing_pages/view/sigotrip/

シゴトリップ

～仕事を楽しむ大人に出会うプチ旅行～

学生は「仕事を楽しむ大人」「やりがいをもって働く大人」に出会ったことが少ない。だから、仕事のやりがいを求めているが、実は自分のやりがいを【知らない】。

特徴 1

厳選3社

地域の中小企業から、これから伸びていく、元気な企業をG-netが中心となり、厳選し、大学生に紹介します。

特徴 2

仕事のやりがいを考える

社長さん、社員さん何名かに、学生からのインタビューを受けて頂きます。テーマは「仕事の楽しみ方、やりがいとは？」企業様、学生、双方に仕事のやりがいを考えるきっかけを提供！

月	火	水	木	金
事前研修	企業訪問			事後研修
マインドセット 訪問企業研究	1日1社実施 (3～4時間程度)			振り返り

▼1日のスケジュール例

13:00～13:10 (10分)	事前打ち合わせ	
13:10～14:20 (70分)	会社説明・工場見学 経営者インタビュー	インタビューのテーマ例 ・働いていて楽しいと感じるとき ・なぜ今の仕事を選んだのか ・仕事で感じるやりがいは？
14:20～15:20 (60分)	社員様インタビュー	
15:20～15:30 (10分)	休憩	
15:30～17:00 (90分)	業務体験型ワークショップ	ワークショップのテーマ例 ・新商品企画もプレゼン ・会社のパンフレット改善 ・社内活性化プロジェクト立案
17:00～17:30 (30分)	事後振り返り アンケート記入	

シゴトリップの特徴



"シゴト"がわかる！

シゴトリップでは企業を選ばません。企業を見るのではなくシゴト本来を見て、働く意義や目的を見つけましょう。



"社長"に会える！

普段会わないような大人と出会い、新しい価値観を知ること・自分はどうしたいのか？を考えることができます。



"聞く力"が身につく！

シゴトリップは事前事後研修があり、企業探求や話を聞く手法をお伝えします。企業を見る目を養え、今後インターンシップへの参加動機や希望する企業が明確になります。

チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト会員団体

全国38地域でパートナーが活動。大学104、自治体50、金融機関29の各地のステークホルダーと連携しながら事業を実施しています

北海道・札幌市 | NPO法人北海道エンブリッジ
青森県・青森市 | NPO法人プラットフォームあおもり
青森県・八戸市 | 株式会社バリューシフト
岩手県・盛岡市/大船渡市 | NPO法人wiz
岩手県・釜石市 | 株式会社パソナ東北創生
秋田県・秋田市 | 株式会社あきた総研
秋田県・羽後町 | NPO法人みらいの学校
山形県・山形市/鶴岡市 | サクラマスプロジェクト
(株式会社キャリアクリエイト、合同会社work lifeshift)
宮城県・仙台市 | 一般社団法人ワカツク
宮城県・石巻市 | 一般社団法人フィッシャーマン・
ジャパン
宮城県・気仙沼市 | 合同会社colere
宮城県・南三陸町 | 株式会社ESCCA
福島県・葛尾村 | 一般社団法人葛力創造舎
福島県・いわき市 | NPO法人TATAKIAGE Japan
福島県・郡山市 | NPO法人コースター
富山県・富山市 | 合同会社ハピオブ
石川県・七尾市 | 株式会社御祓川
石川県・金沢市 | 株式会社ガクトラボ
福井県・福井市 | 株式会社akeru
茨城県・日立市 | 株式会社えぽっく

栃木県・宇都宮市 | NPO法人とちぎユースサポーターズ
ネットワーク
群馬県・桐生市 | 一般社団法人KiKi
東京都・渋谷区 | NPO法人ETIC.
愛知県・名古屋市 | NPO法人アスクネット
岐阜県・岐阜市 | NPO法人G-net
三重県・四日市市 | 一般社団法人わくわくスイッチ
大阪府・大阪市 | NPO法人JAE
兵庫県・淡路市 | 淡路ラボ (株式会社次世代共創企画)
和歌山県・田辺市 | 株式会社TODAY
岡山県・岡山市 | NPOエリアイノベーション
岡山県・西粟倉村 | エーゼロ株式会社
鳥取県・鳥取市 | NPO法人学生人材バンク
島根県・雲南市 | 一般社団法人Umi
熊本県・熊本市 | 一般社団法人フミダス
熊本県・球磨郡五木村 | 株式会社日添
大分県・竹田市 | まちづくりたけた株式会社/竹田市役所
/一般社団法人竹田市移住定住支援センター
宮崎県・宮崎市 | 宮崎大学 産学・地域連携センター
Capa+ (キャパタス)
鹿児島県・鹿児島市 | 株式会社マチトビラ
鹿児島市 | 一般社団法人鹿児島天文館総合研究所Ten-Lab
鹿児島県・奄美大島龍郷町 | 一般社団法人 E'more秋名

1.自己紹介・名古屋産業大学・経営専門職学科

2.インターンシップについて

3.愛知県瀬戸市との地域連携

4. まとめ

インターンシップ（定義）

「学生がその仕事に就く能力が自らに備わっているかどうか(自らがその仕事で通用するかどうか)を見極めることを目的に、自らの専攻を含む関心分野や将来のキャリアに関連した就業体験(企業の実務を経験すること)を行う活動(但し、学生の学修段階に応じて具体的内容は異なる)」

文部科学省・厚生労働省・経済産業省（令和4年）「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」

類型	性質	主な特徴	採用活動の可否	就業体験の有無
オープンキャンパニー	個社や業界に関する情報提供・PR	企業・就職情報会社・大学キャリアセンター主催のイベント・説明会を想定。超短期（半日）	不可	なし
キャリア教育	働くことへの理解を深めるための教育	企業のCSRとして実施するプログラムや、大学主導の授業など	不可	任意
汎用的能力・専門活用型インターンシップ	就業体験を通じて、学生にとっては自らの能力の見極め、企業にとっては学生の評価材料の取得	汎用的能力活用型は短期（5日以上）、専門活用型は長期（2週間以上）。参加期間の半分以上は職場で就業体験	採用活動開始以降に限り、可	必須
高度専門型インターンシップ	就業体験を通じて、学生にとっては実践力の向上、企業にとっては学生の評価材料の取得	ジョブ型研究インターンシップなどを試行中（主に大学院生向け）	採用活動開始以降に限り、可	必須

日本経済団体連合会(2022)

一定の基準※に準拠するインターンシップで得られた学生情報は、採用活動開始後に活用可能。

※ 就業体験要件（実施期間の半分を超える日数を職場での就業体験に充てる）

実施期間要件（実施期間は、汎用的能力活用型では5日間以上、専門能力活用型では2週間以上）等。

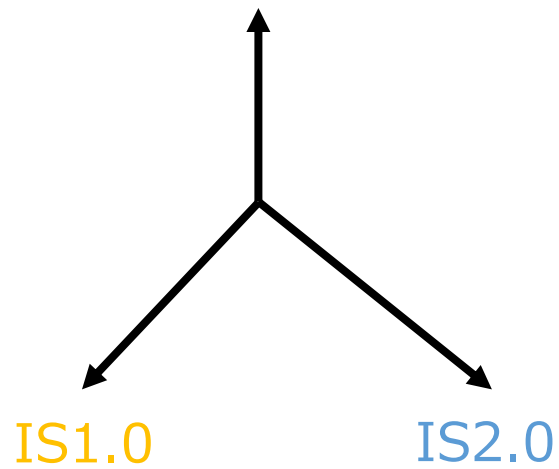
インターンシップの推移

IS3.0

IS 1.0 大学教育で発展したIS

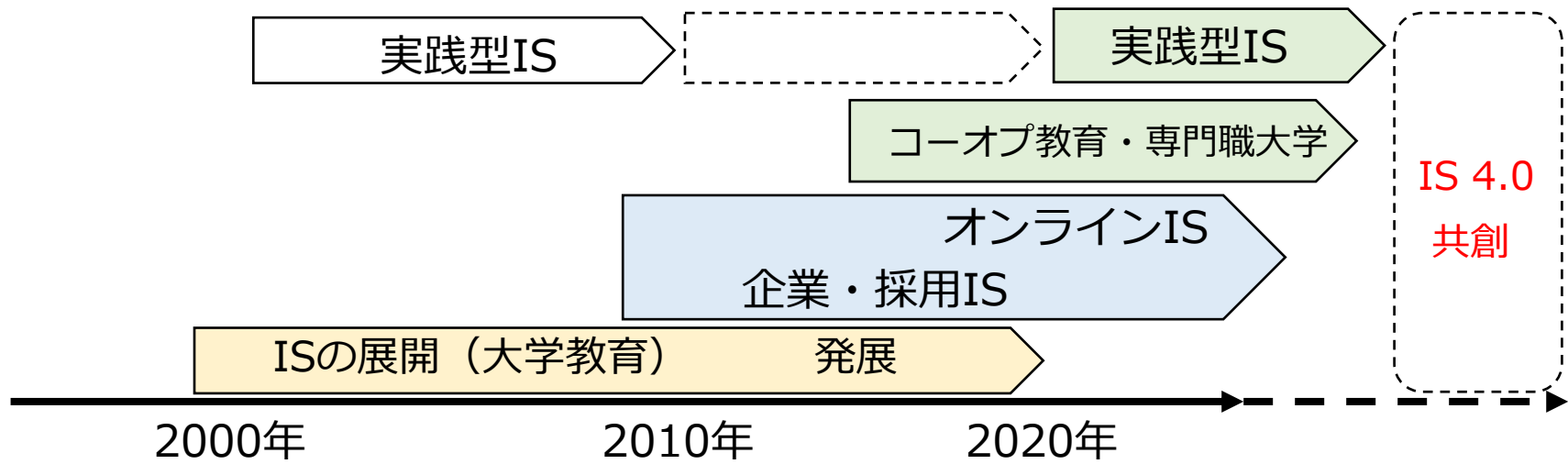
IS 2.0 採用目的のインターンシップ

IS 3.0 次世代インターンシップ



IS 3.0 次世代インターンシップ

- 1.実践型インターンシップ (+a)
- 2.大学でのコーオプ教育



2000年

2010年

2020年

インターンシップの効果

1 大学等及び学生にとっての意義

- 大学等におけるキャリア教育・専門教育を推進
学生のキャリア形成を支援
- 教育内容・方法の改善・充実
大学等における教育内容・方法の改善・充実
学生の新たな学習意欲を喚起する契機となる
- 高い職業意識の育成
自己の職業適性や将来設計について考える機会
就職後の職場への適応力や定着率の向上にもつながる。
- 自主性・独創性のある人材の育成
課題解決・探求能力、実行力などの「社会人基礎力」
「基礎的・汎用的能力」などの社会人として必要な能力を
高める

2 企業等における意義

- 実践的な人材の育成
就職後の企業等において実践的な能力として発揮 実社会への
適応能力のより高い実践的な人材の育成
- 大学等の教育への産業界等のニーズの反映 大学等と連携
- 企業等に対する理解の促進、魅力発信
相互の情報の発信・受信の促進につながり、企業等の実態に
ついて学生の理解を促す一つの契機になる
学生が各企業等の業態、業種又は業務内容についての理解を
深めることによる就業希望の促進
受入企業等において若手人材の育成の効果 が認められる。
- 採用選考時に参照し得る学生の評価材料の取得
学生の就業体験と、企業等は学生の仕事に対する能力を適正
に評価し、採用選考活動時における評価材料を取得

文部科学省・厚生労働省・経済産業省（2022）
「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」

教育的効果の高いインターンシップの要件

前提条件として：すべての関係者にメリットのある場の設定



1. 3者でプログラムの目的が共有されている

学生・企業（地域）・大学でインターンシップの目的について話す機会が十分にある。

2. 学生も企業も「本気と覚悟」を持ってスタート

事前研修・実習・事後研修が一体化している。必要に応じ企業向け説明会、担当者向け研修なども行う。

3. 本気の「現場」「お題」「顧客の声」「ハードル」

現実の本業に即した成果目標と指標があり、達成責任が課されている＝企業メリットの源泉。

経済産業省（2013）



経済産業省 (2013)

インターンシップの課題

<民間企業の調査>

2022年卒の学生に対する調査結果として、インターンシップ参加経験を有する割合が61.4%で、学生一人あたりの平均参加社数は6.69社である。

学生が参加するインターンシップの期間は、学生に対する調査（複数回答）より、学生が体験したインターンシップ期間は、1日が70.9%と最も高く、2日が26.9%、3日以上1週間未満は25.4%、1週間以上2週間未満が9.0%、2週間以上1ヶ月未満は3.2%である
(リクルート2020)

企業が主体として実施する採用目的の短期間のインターンシップは、学生に馴染みのある企業や資本力があり広報を積極的に行う大企業に優位に働き、企業間の格差を助長する危険性が含まれる。

インターンシップの課題

大学の課題としては、大学で単位認定される特定の資格取得に関係しないインターンシップに参加した学生の延べ人数は83,961人(2.9%)と、大学での実施割合に比べ学生の参加率が少ない

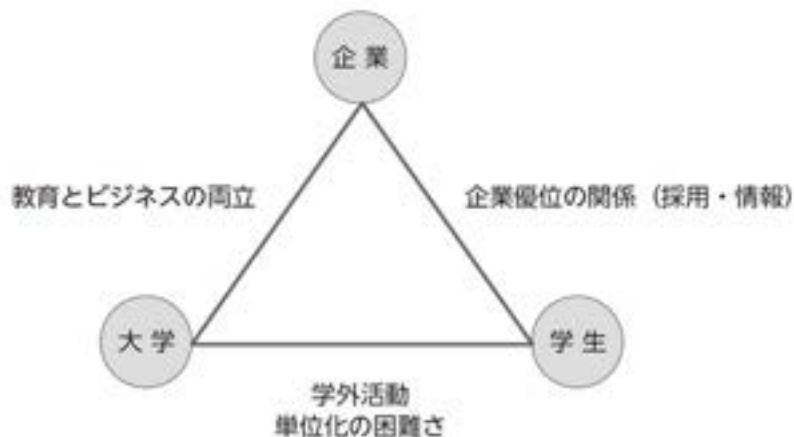
(文部科学省 2020)

大学内ではインターンシップ専門人材が不足する課題が存在 (文部科学省2017)

プログラムの構築や学外の企業との連携にも障壁が存在する。

大学内でインターンシップを実施するには、大学のプログラムの変更が必要となる。養成する人材像やディプロマポリシーやカリキュラムポリシーへの影響が及ぶことから、大学改革の議論が必要となり、時間や多大な労力がかかる。

図表 3-11 3者の異なる思惑と関係性



企業と大学
企業と学生

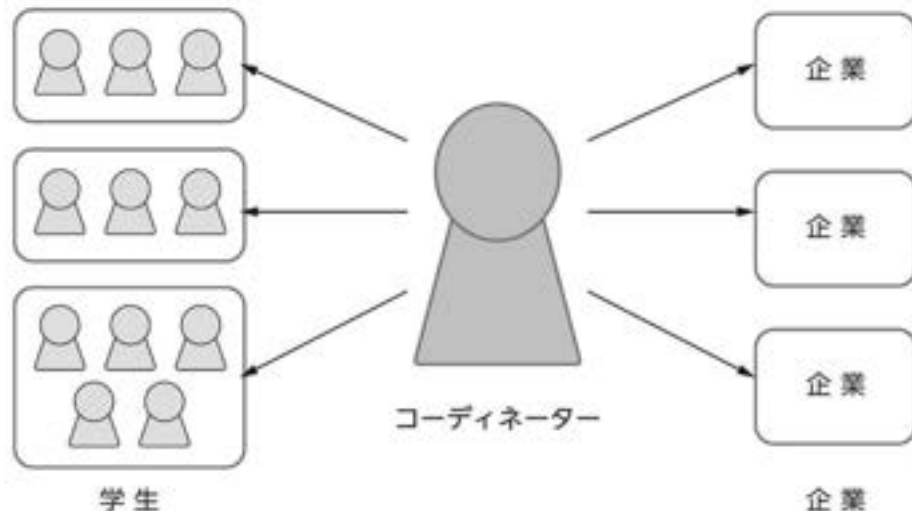
同じベクトルを共有することの困難さ
対等な立場を構築することの困難さ

図表 3-10 千差万別のインターンシッププログラムの組み合わせ



インターンシップは多種多様

図表 5-1 コーディネーターが存在するインターンシップ



企業と学生双方のニーズ・実態を把握し、マッチングをする

コーディネーターの役割

	事前	インターンシップ中	事後
对学生	募集・面接 研修 (目標) マッチング	伴走支援 フォロー 助言	発表会 振り返り 今後の目標
对企业	募集・面談 プロジェクト設計 マッチング	伴走支援 意見交換 内容の微修正	発表会 振り返り 次回への改善

1.自己紹介・名古屋産業大学・経営専門職学科

2.インターンシップについて

3.愛知県瀬戸市との地域連携

4. まとめ

瀬戸市役所との連携

事例1 瀬戸市での発展

瀬戸市内企業のシゴトリップ開発

2021年12月
産業政策課
セミナー実施



事例2 長期・有償型インターンシップの開発
加藤工務店の事例

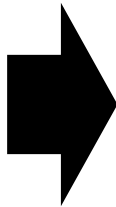


事例3 瀬戸市役所の5日間の
シゴトリッププログラム開発



2022年9月
協定締結
(大学・市役所・商工会議所)

展開1 瀬戸市内企業への波及



セミナー

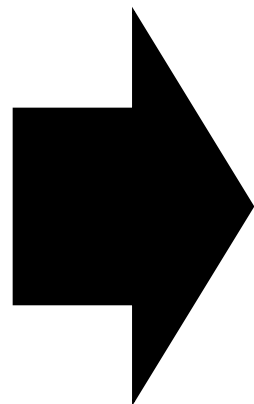
セミナー



秋の初め、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 さて、瀬戸市地域産業振興会議では、「学生が参加したいインターンシップを考える！人事×学生ワークショップ」を下記のとおり開催します。
 現在、企業が学生と接触する機会が早期化や多様化により、裾野環境は大きく変化しています。その中でインターンシップは、企業と学生の接点として貴重な機会となっております。質の高いインターンシップの実現には、企業、大学、学生それぞれの立場を理解した上で協力、実施することが重要となります。
 このような背景を踏まえ、本ワークショップでは、「働く」ことを具体的に考えるものとなるよう、学生のサポートをするキャリア支援担当の教職員、市内企業の人事担当や若手従業員が一堂に会し、学生が参加しやすい企業や学校にも効果的となるインターンシップについて考えることを目的に実施します。
 コーディネーターには、日本で初めて経営専門大学院を設けた名古屋経済大学から、インターンシップ学会の理事も務める現代ビジネス学部経営学専攻教授の今永典生先生をお招きしています。多数の方からの申込をお待ちしています。



ワークショップ



瀬戸で未来を見つける！
5 DAYS INTERNSHIP

参加費
無料
学部不問

瀬戸市内企業連携インターンシップ

※応募多数の場合は抽選となります
※応募企業は未定です

夏休み特別企画

参加学生募集！

定員 8名
※応募多数の場合は抽選となります

インターンシップ実施期間：8/28～9/1 ※8/30を除く

インターンシップ概要

参加者募集
5/8(月)～
7/31(月)まで

事前説明会
8/24(木)
会場：パルティセ
と
14:00～

インターンシップ
8/28(日) 8/29(月) 8/30(火) 8/31(水) 9/1(木) 9/2(金)
A社 B社 休み C社 D社 休み
成果発表 パルティセと：14:00～

応募方法

QRコードを読み取り、
必要事項をご入力ください。



【個人情報取り扱い等】「このウェブサイトは個人情報（インターンシップの応募申込）が応募者への連絡手段の提供を目的として提供されています。すべての個人情報は一定の目的範囲内でのみ、適切に管理されています。」

雇用に関する連携協定事業
名古屋産業大学・瀬戸商工会議所・瀬戸市

お問合せ先
瀬戸市地域産業振興会議
(事務局：瀬戸市産業政策課)
0561-88-2651

共創型インターンシップ (Win -Win)

瀬戸市内のインターンシップ事例

株式会社加藤工務店

- 特徴**
- 瀬戸市役所より発注いただいた「リアルな工事」が課題!
 - 施工計画～工事完了までの一連の土木施工管理業務を7日間で体験!

公共インフラ整備・維持管理の社会貢献性や仕事内容を直接体験することができます。



会社Webサイトにて詳細案内しています



テノ/エイト株式会社

- 特徴**
- 自動車部品メーカーで技術職体験ができる!
 - 5日間で複数の部署を体験できる!
 - 先輩社員との座談会有!

座談会では若手の先輩社員に質問することができます! NGなしで何でもお聞きします!



採用HPは
こちらから



株式会社トーカロイTGK

- 特徴**
- 5日間9:00～16:00の「リアル現場体験」
 - サンプル記念品製作、交通費支給
 - 最終日午後「成果発表会」で振り返り

若手社員の親切指導で、業務・施設・環境・匂い・昼食等々、「会社のすべてをプチ体験」いただけます!



採用HPは
こちらから



瀬戸市役所

- 特徴**
- 5日間で複数部署の業務を体験できる!
 - 市役所以外の施設を見学できる!
 - 参加者同士で交流することができる!

市の業務や職員などについて理解を深めることができます。

人事課SNS
(Instagram・Twitter)で情報発信しています!

@seto_saiyo (瀬戸市職員採用)



インターンシップの新たな定義

新たなインターンシップが、2023年度に学部3年もしくは修士課程に進学する学生から開始されます。下記の5つの要件を満たす場合、プログラムを通じて取得した学生情報を採用活動開始後に活用できます。

1. 就業体験要件…半分以上の日数を職場での就業体験に従事
2. 指導要件…社員が指導
3. 実施期間要件…汎用型能力活用型(5日間以上)、専門能力活用型(2週間以上)
4. 実施時期要件…学部3・4年/修士1・2年の長期休暇に実施
5. 情報開示要件…募集要項で必要な情報を開示

出典：採用と大学教育の未来に関する大学協議会(2022年4月)

雇用に関する連携協定事業

名古屋産業大学・瀬戸商工会議所・瀬戸市

問い合わせ

瀬戸市地域産業振興会議

事務局 瀬戸市産業政策課 ☎0561-88-2651



インターンシップ実践への4ステップ



設計がカギ!! 学生にきちんと伝え、振り返り&改善。自社の魅力が詰まったオリジナルプログラムをつくろう

Start

1 設計

- ステップ** 「実施」前の「設計」がカギ。内容をきちんと伝え、実施後に振り返り、改善を続け、自社にとってオリジナルのプログラムを作り上げる
- 整合性** 企業の置かれている環境を踏まえた戦略や課題を整理し、採用戦略・人材育成計画を検討する
- 明確化** 企業の戦略・課題と採用戦略・人材育成計画を踏まえて、目的を社内でも合意形成・共有する
- ニーズ** 目的を踏まえて、参加する学生ターゲットを設定し、ターゲットニーズを想定した上で、プログラムを検討する
- 合致** 目的が、学生ニーズを踏まえたものになっているか再検討し、必要に応じて調整・修正する
- スケジュール** プログラムの計画表・日程表・役割分担を事前に完成させて、関係者で共有する
- プロジェクト** プロジェクトシートとしてまとめて、見える化してからプロジェクトをスタートする

必要な人材は
どんなが、見よう!

欲しい人材に響く
プログラムの何が?

定まらぬ環境
はしゃがめ!!

2 募集

- 広報** プログラムの特徴を正確にわかりやすく学生に伝える
- 企画** 概要を企画書にまとめて社内の関係者へ共有。次回以降の継続・発展につなげる

あかりやまぐ
なっていますか?

3 実践

- ガイダンス** プログラムの冒頭の説明が、学生の参加意欲向上や理解度向上の成功のカギとなる
- 個人フォロー** 事前に学生個人の自己分析や課題・目標と、発表会の実施や振り返り・フィードバックの実施により学生の成長をサポートする
- プロジェクトフォロー** 報告・連絡・相談や、日誌の作成、困ったときの相談体制などを整備し、プロジェクト成功に向けたフォローの仕組みをつくる

学生をしっかり
サポートしよう!

4 総括

- アンケート** 改善のために、参加学生の感想・声・実態を把握する仕組みをつくる
- 総括** 担当者や関係者、学生の声や活動の様子を観察し、総合的に全体を振り返り、次回に向けた改善案を検討する。改善によってオリジナルのインターンシッププログラムへと進化させる
- チェックリスト** 品質向上につなげるため、独自のインターンシップ品質基準リストを策定し、自社の魅力が詰まったオリジナルプログラムに進化させる

学生の声を
しっかり聴け!

定まらぬやう!

様々なインターンシップ

プログラム事例

◆課題協働型プログラム(5日程度)

毎年数社の新卒採用をする製造業の事例です。大学と連携してプログラムを作成しています。
5名前後の学生を受け入れ、工場見学や社内情報などにより企業の理解を深めていただいたうえで、商品の認知度アップや販路開拓など課題に対して、商品に関するレポートを作成し、ホームページで公開したり、具体的な店舗で取り扱っていたりできるような提案書を作成しました。
お互いにサポートし合いながらグループで成果を出そうと取り組む姿がみられました。

◆仕事体験疑似型プログラム(1週間程度)

業績拡大でたくさんの新卒採用をするサービス業の事例です。企業独自でプログラムを作成しています。
複数の部署で、それぞれの仕事や課題に関するワークショップを実施し、会社で働くことのイメージを鮮明にできる実践的なプログラムで、リアルな職場で職員から実体験の話が聞けることができたり、助言を受けられることで、学生一人ひとりの成長を支援しています。

◆大学と連携した共創プログラム(半年程度)

企業向けの取引が中心の製造業の事例です。大学の講義の一環として、プログラムを作成しています。
商品の認知度を高めることを目指し、フォトコンテストを学生とともに運営しました。SNSを活用し、学生が中心となり、企業と相談しながら実践しました。次の回では、地元金融機関と連携し、商談会も実施しています。
学生にとって仕事を実践できたほか、企業にとっても新たな販路開拓につながっています。

長期実践型インターンシップ

◆社長のミギウデ

地域の中小企業では、人材に余力がなく新たな取り組みを実施したくても注力できない状況が少なくありません。
そこで、社長のカーン持ちのように一緒に行動して企業の実態を把握し、社長が考える取り組みの立上げや、企業が抱える課題に対する解決案を検討し、社員と一緒に実践する長期実践型インターンシップです。SNSやクラウドファンディングの運営を任せられ実践したり、補助金申請を任せられ補助金を獲得するなど、学生だけでなく企業にとっても成果につながっています。

事例2 加藤工務店の事例

株式会社 加藤工務店

COMPANY

SERVICES

NEWS

CONTACT

RECRUIT



GENERAL CIVIL ENGINEERING AND PAVING

土木一式・舗装工事

EMERGENCY MAINTENANCE

緊急維持修繕

ASPHALT CONCRETE

アスファルト合材製造

会社名	株式会社 加藤工務店
創業	昭和3年10月1日
設立	昭和36年12月26日
資本金	20,000,000円
代表者	代表取締役社長 加藤 隆広
営業項目	土木一式・舗装工事 アスファルト合材製造販売
建設業許可	愛知県知事(特-29)第5961号 土木、舗装、とび・土工、管

株式会社 加藤工務店 RECRUIT 2024

会社情報 仕事情報 人事情報 募集要項

エントリーシート



MESSAGE

異なる個性が集まるから、
おもしろい。

私は、加藤工務店の人事まで
真正義者が率いるSoftBank Vision Fundという投資ファンドで
世界中のスタートアップ企業への投資と投資先の経営支援を担っていました。

この仕事を通して、世の中を豊かにする新しいテクノロジーを生み出すさまざまな会社
に出会い、多様な個性や能力を持つ人々が集ることによって、次ぎなうねりが生まれる
世界を垣の垣にりました。

人と人は違う、違うからおもしろい。
異なる個性が集まり、新しい何かを創出す。
1人でできることなんて、たかが知れている。

地域中小企業の課題に対して、 学生の有償型で長期間実践する ジョブ型インターンシッププログラム

<企業>

若手人材との接点・育成のノウハウ
工学部・土木などの系統の学生
将来の業務改善の担い手

<学生>

工学部・土木などの系統の学生
週に2日程度、学校のない時間に実施
研究内容・学習内容と業務を重ねる
有償（アルバイトの代替）
学業・研究の延長

対象を大学4年生とし、就職活動とは切り離し、専門分野の学業と業務分野が重複する部分に対する有償型の「ジョブ型インターンシップ」

変更前

5日間のプログラム

項目	内容
設計△	企業のビジョンや中期戦略・課題を踏まえた内容まで落とし込めてはならず、実施可能な内容でプログラムを構築していた
募集×	大学のキャリアセンター経由で、実際の魅力が十分に伝わっていない可能性有
実施○	企業で働く実態を体験するためのプログラムが構築されている
総括△	学生の声、関係する社員の声などを拾い改善に向けた取り組む余地がある

変更後









長期・有償型プログラム

項目	内容
設計○	今後の中長期的な計画や経営課題に基づいて、プログラムのテーマとした。インターンシップの実施プロセスの成果を可視化し発信することでブランド価値を高める。
募集○	ブランド力が乏しい状況の中で、「ジョブ型」インターンシップとして、業務領域と学生の専門分野を合致させる内容として長期間の取組インセンティブを付与した。
実施◎	2人の従業員がプロジェクトを担当することとして、目的を持ったプロジェクトとして実行した
総括○	教育効果が含まれる条件として、日報、3者のMTG、Slackを導入し、振り返り可能な状態を整備した

時期	内容
1.2021年12月 セミナー参加	「インターンシップ全体概要」「目的と効果」など知識のインプット
2.2022年2月上旬 相談1	同社の「現状分析」「設計に対する企業の魅力の整理」「広報に関連したターゲット学生の選定」
3.2022年2月中旬 相談2	「実施」するための「設計」方法、「広報」の検討
4.2022年2月下旬 相談3	「実現可能で効果的なプログラムへ向けた助言」と、「総括」の仕組み

項目	変更前	変更後
内容	体験・業務補助	体験・業務補助＋課題解決・事業創造
期間	7日間(短期-中期)	半年から1年(長期、週に2日)
参加人数	4人前後	1人
対象	就職活動前の学生(3年生)	就職活動関係なし(4年生)大学の学業と関係有
設計	企業の実践事例よりプログラムを構築	企業の課題・今後の方向性から検討(ビジョン、戦略)
募集	大学のキャリアセンターでの掲示	当社が接点を有する学生で実施
実施	実現容易な内容(発注先と協力)	経営課題や中期計画に基づいて設計
総括	学生へのアンケート取得	目標設定、日誌、メンター(Slack導入)

事例3. 瀬戸市役所のインターンシップ

実施回数	受入人数	各回日程	午前		午後	
			1日目	A 部署	個人で記録 	B 部署
2日目	C 部署	個人で記録 	D 部署	個人で記録 		
3日目			人事課	グループで集約 		
4日目	E 部署	個人で記録 	F 部署	個人で記録 		
5日目	G 部署	個人で記録 	人事課	グループで集約・発表 		

個人への課題

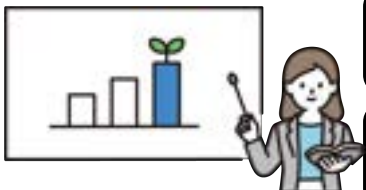
「実習内容」「業務内容について学んだこと」「職員について感じたこと」等を個人で「実習ノート」に記録する。

グループへの課題

個人の記録をグループで持ち寄り、以下のどちらかのテーマで、集約、発表する。

「私たちが目指す瀬戸市の将来像」 …どのようなまちにしたいか

「私たちが目指す瀬戸市の職員像」 …どのような職員になりたいか



スケジュール		内容	対象
4月	4月28日(木)	企画会議にて見直しについて周知	職員
5月	5月6日(金)から5月18日(水)	各部署に受入れの可否について照会	
6月	6月13日(月) 6月17日(金)	point 実施部署への説明会 ホームページ掲載	
7月	7月4日(月)から7月20日(水) 7月27日(水)	point 申込期間 書類選考により受入れ可否決定	学生
8月	8月15日(月)から8月19日(金) 8月29日(月)から9月2日(金)	第1回実施 第2回実施	
9月	9月12日(月)から9月16日(金) 9月26日(月)から9月30日(金)	第3回実施 第4回実施	

	1週目(8月15日から8月19日)	2週目(8月29日から9月2日)	3週目(9月12日から9月16日)	4週目(9月26日から9月30日)
初日午前	政策推進課	浄化センター管理事務所	産業政策課	
初日午後	文化課	浄水場管理事務所	教育委員会	まちづくり協働課
2日目午前	瀬戸蔵ミュージアム			
2日目午後	政策推進課	教育委員会	ノベルティ・こども創造館	
3日目午後	人事課			
4日目午前	教育委員会	文化課	財政課	文化課
4日目午後	シティプロモーション課		ものづくり商業振興課	シティプロモーション課
5日目午前	浄水場管理事務所	議事課	シティプロモーション課	国保年金課
5日目午後	人事課			

改善項目	改善内容		得られた効果	
	前	後	本市への効果	学生への効果
申込み	各部署が対応	人事課が全て対応	・各部署の負担が軽減された。	・申込先を人事課のみとすることで、混乱を防ぐことができた。
受入れ	先着順	書類選考	・能力や熱意のある学生を受入れられた。	・能力や熱意をアピールできる機会を提供することができた。
実施	各部署が5日間実施	人事課と複数部署で5日間実施	・各部署の負担が軽減された。 ・受入れ部署が増加した。	・市役所業務の全体像を知ってもらい、より多くの職員と関わる機会を提供することができた。
受入れ数	1名	複数名(10名程度)	・実施方法を見直すことで、1度に複数名の学生を受け入れることができた。	・多くの学生を受け入れることで、参加できる可能性が高まったため、参加意欲を高めることができた。
実施部署への説明会	未実施	人事課が各部署に対して実施	・各部署への説明会を実施し、目的の共有を図り、スケジュールを調整することができた。	・目的とスケジュールの詳細を事前に示すことができたため、有意義で効率的なインターンシップを期待してもらうことができた。

シンプルでわかりやすい！

学生が能力や熱意をアピール！

職員同士が協力することで、市も学生もWin-Win！

学生同士交流できる！

目的や留意点を共有！

効果

5日間で最大8部署の業務を体験できる。

人事課と複数の部署が共同で5日間受入れるため、様々な部署の業務を知ることができる。そのため、市役所業務の全体像を知ることができ、また、多くの部署の職員と関わるすることができる。

市役所以外の施設を見学できる。

瀬戸市にじの丘学園（小中一貫校）、浄水場、浄化センター等、学校や市民の生活を支える施設を見学することができる。

参加者同士で交流することができる。

1度に複数名受入れるため、同じ志を持った他の参加者と交流することができる。また、より有意義な交流とするため、グループワークを実施する。

申込者数
※事務職

87名

選考書類

受入者数
※事務職

40名

(10名×4回)

応募

半数以上
応募（受験）

良い・魅力的なインターンシップを実施することで、多くの学生が参加し、愛着を持ち、募集・母集団形成につながる

1.自己紹介・名古屋産業大学・経営専門職学科

2.インターンシップについて

3.愛知県瀬戸市との地域連携

4. まとめ

まとめ

インターンシップが転換期にある中で、
地域中小企業が単独で5日間以上実施は困難である。
→大学としても地域・地域企業に対する貢献が必要
→インターンシップのノウハウを有する実務家
（教員・職員問わず）が、地域企業へのコンサル・
セミナー・プログラム作成で支援する
→結果、多くの受け入れ先が生まれ、学生の
インターンシップの機会を増やすことになる。

- ・ 行政・中間支援団体（企業連合・インターンシップ専門組織）との連携は重要となる
- ・ 単独企業のみでの連携は、大学にとっても長期的には不利益である。プラットフォーム・共創の仕組みが重要

今後に向けて

「企業」と共に、協力して、良いインターンシップを実現させることを通して Win-Winな関係を作ろうとする流れはあまりないように感じる。

短期的な視点ではなく、中長期的な視点で、未来に向けた共通の絵姿を描けるか？

インターンシップのプログラム作成ノウハウを
(企業の戦略・マーケティング・採用・人事戦略)
有する人材（コーディネーター人材）との
協働・共創、および人材育成が必要

インターンシップ ×

共創



地域・地域企業にとってのメリットが生まれ、
結果として、大学・学生にとっての有益な教育機会
(インターンシップを含む) が生まれる

今回の発表に関する内容の責任は、今永に帰属します。
内容に関する質問やご意見などございましたら、今永宛(n-imanaga@nagoya-su.ac.jp)
に直接お問い合わせ（一度メールで照会ください）をお願いいたします。
（お気軽にご連絡ください）

<発表に関連する論文>

- ・今永典秀(2023)「行政インターンシップの改善プロセス-愛知県瀬戸市役所の部署横断プログラムの開発事例-」地域活性研究 18(1) 81-90
- ・今永典秀, 松林康博(2023)「専門職大学の制度を活用した体系的な教育プログラム -名古屋産業大学経営専門職学科の事例より-」職業教育学の探究 1(1) 59-68
- ・今永典秀(2022)「地域中小企業による有償ジョブ型インターンシッププログラムの構築プロセス -愛知県瀬戸市の建設業による長期実践型インターンシップより-」地域活性研究 17(1) 39-48
- ・今永典秀, 鳥本真生(2022)「中小企業の長期実践型インターンシップにおけるコーディネーターの存在価値ー地域中小企業・コーディネーター・学生の3者の視点からの調査分析ー」日本NPO学会 ノンプロフィット・レビュー 21(1) 57-70
- ・今永典秀, 棚瀬規子, 南田修司(2022)「地域中小企業の魅力発見に向けた体験学習プログラムの効果 -NPO法人G-netによる「オンラインシゴトリップ」の事例より-」日本インターンシップ学会 研究年報 25 1-8

<書籍>

- ・『企業のためのインターンシップ実施マニュアル』日本能率協会マネジメントセンター
- ・『共創の強化書』中央経済社
- ・『経営専門職入門』日科技連出版社

<関連HP>

- ・名古屋産業大学 経営専門職学科HP <https://www.nagoya-su.ac.jp/guide/management-profession/>
- ・NPO法人G-net シゴトリップ紹介サイト https://peraichi.com/landing_pages/view/sigotrip
- ・NPO法人G-net HP <https://qifist.net/>
- ・瀬戸市役所 採用サイト (Instagram) https://www.instagram.com/seto_saiyo/
- ・加藤工務店 HP <https://www.katokou.co.jp/recruit/>

学校法人菊武学園



名古屋産業大学
現代ビジネス学部 経営専門職学科
地域連携センター長



准教授 **今永典秀** 博士(工学)
Imanaga Norihide



〒468-8711
愛知県瀬戸市新坂町山の田3255-5
TEL: 0561-55-5101(代表)
FAX: 0561-52-0515
E-mail: n-imanaga@nagoya-su.ac.jp

日本インターンシップ学会 理事
グローバルビジネス学会 理事

実務家教員 (自己紹介記事)



任意団体NAGOYA×FOREVER 設立・代表
株式会社UNERI アンバサダー (外部アドバイザー)
名古屋市共創コーディネーター事業 外部アドバイザー
NPO法人G-net 地域の社内起業家応援プロジェクト スクール長
任意団体愛知プロボノ・イニシアティブ 設立・理事 (Cue Dream Project)
NPO法人たすけあい名古屋 理事



企業向けの
インターンシップ
実施マニュアル

経営専門職
入門

企業向け
の
インターンシップ
プログラムの教科書

協働・共創による
外部資源の活用

企業間の
つながり

G-net

個人HP「イマゼミ」
<https://imazemi.com/>